

# 広報 なかのしま

11月号 南蒲原郡中之島村役場

村内交通事故状況 ( )は10月分

	件数	死者	傷者
52年	22 (2)	1 (-)	23 (2)
51年	37	0	49
50年	41	4	56



編集と発行：中之島村役場企画課  
〒964-0101 (055) 211001

人口のうごき

11月1日現在

( )内は前月比

人口	11,209人	(+1)
男	5,521人	(-2)
女	5,688人	(+3)
世帯数	2,211	(+1)

今月の納税 ▶ 軽自動車税(11月期随時分) ▶ 保育料(11月分)

## 結婚シーズン



十月は別名「神無月」と呼ばれるように、全国の神々が出雲大社に集まって、各地の神様がいなくなる月という意味です。ご承知のように出雲大社は縁結びの神様ですから、この月に結婚すると、出雲大社の祝福を受けられると伝えられており、大安吉日の十五日の土曜日は幾組も新婚カップルが生まれたことでしょう。村内でもご覧のとおり、二十組もの新婚さんが誕生……

ところで日本交通公社の調べによると、五十一年に生まれた新婚カップルは推計九十万組、このうち二十七万組が九月下旬から十二月中旬にかけて

て式を挙げているそうです。新婚旅行の割合は九州、沖縄など南の方へ出かける人が多く、海外へ行くのは全体の約二割というのですがたいへんな数です。費用も飛行機やハイヤー利用がふえており、これにホテル代、食堂、みやげ代、雑費などを加えると、国内で三十万円以上になる、とはいえます。一生の思い出だから、とはいえなかなかたいへんな金額になりますね。

これら冠婚葬祭など、生活の簡素化を図る——生活改善の申し合わせが全村で行なわれ、徐々に向かっています。世間ていやミエにこだわらず、申し合わせを守って、住んでいてよかったという村づくりをしましょう。



## 新有権者の感想文募集

● 応募内容  
 標 題——「成人の日」を迎え、新有権者として、社会人として、選挙を経験するなどして地方自治や国政への参加について、自分自身で経験し、もしくは考えたり、感じたこと。標題はその内容にそれぞれふさわしいものとする。

字 数——一、六〇〇字以内(原稿用紙四枚以内)  
 応募資格——昭和三十一年一月一日～昭和三十三年十一月三十一日生れ  
 締切日——昭和五十三年一月七日  
 提出先——中之島村選挙管理委員会(役場内)

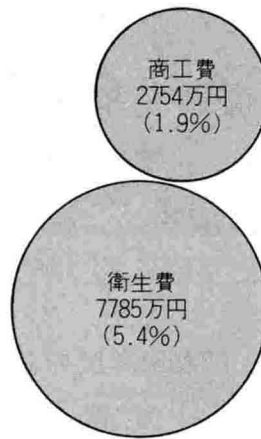
心配ごと相談 ○毎週火曜日 午後1時～4時  
 ○公民館



民生費 1億8799万円(13.1%)



土木費 3億3042万円(23.0%)



村 債

いわゆるお役所ことばですが、ひらたくいえば村の借金のことです。もちろん、国・地方の財政上の一定のきまりのなかでできる借金ですので、普通という借金とは、ちょっと違います……。

借入先別	政府資金	2億4675万円
	銀行資金	1億2838万円
	農協資金	2億円
	新潟県	6176万円
	共済組合	270万円
合計	6億3959万円	

村税の収入状況

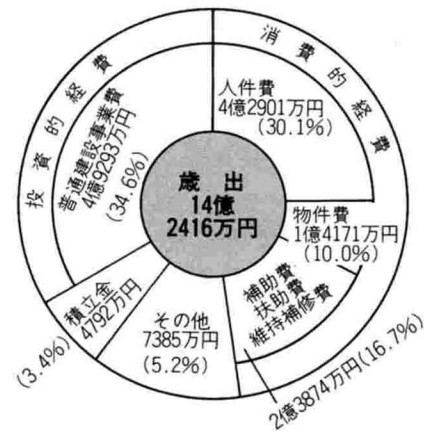
決算額 2億460万円  
収納率 98%

村民税	8291万円
国定資産税	8190万円
たばこ消費税	1854万円
電気税	951万円
軽自動車税	823万円
特別土地保有税	340万円
ガ ス 税	11万円

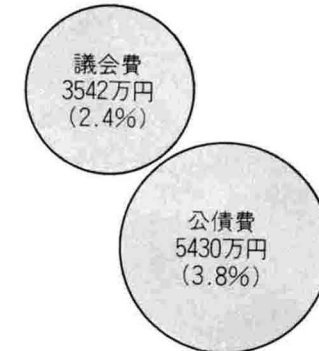
金額は現年・滞納分を含む

性質別経費の状況

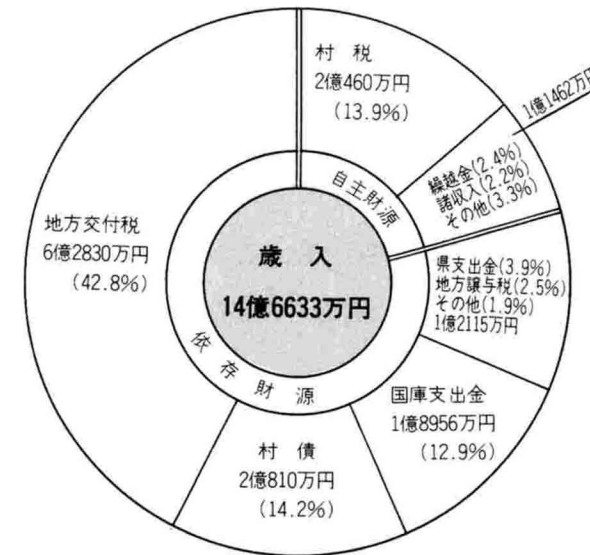
(ここでの決算額は国民年金購買基金繰出金並びに産業育成資金県分元金を除いてありますので歳出合計額とは一致しません。)



教育費 3億6988万円(25.7%)



14億円をこんなところに



一般会計

歳入	14億6633万円
歳出	14億3816万円
歳入歳出差引き	2817万円 (黒字)

※各費目の金額は収入・支出済額 ( )内は構成比。

明るく住みよい村づくりだ

4.5ページへ移ります。

一般会計51年度決算

歳 出

おもな建設事業の項目にあげているように、中央小学校の校舎建設に一億八千四百万円あまり、道路の新設・改良・舗装に一億八千三百万円などを、実施計画にもとづいて着実に、しかも積極的に取り組んでまいりました。

目的別歳出では、教育費・土木費・総務費・民生費・農林水産業費・衛生費・消防費などの順になっています。

歳 入

前年度に比べ一億二千四百万円あまりの増(九・三%)ですが、五十年年度決算における対前年度増加率(二九・四%)を下回り、伸び率は大幅に鈍りました。構成比では図表のように、地方交付税が四二・八%で最も大きく、村債の一四・二%、国庫支出金の二二・九%など、依存財源が大きな比率(七八・二%)を占めており、村税(一二・三・九%)などの自主財源はわずかに二一・八%と三割自治にはほど遠くなっています。

中条診療所 (内科) 開設日程 (小児科)

○毎週火・木曜日 午後6時～午後12時  
○毎週日曜日 午前9時30分～午後5時30分

一般会計51年度決算

決算収支

歳入総額十四億六千六百三十二万六千円、歳出総額十四億三千八百五十九万九千円で決算の実

五十一年度の決算概況

長期にわたる厳しい経済情勢と戦後最悪といわれる財政事情のなかで、▽教育施設の整備▽社会資本の充実と生活環境の向上▽産業の振興▽常備消防体制の整備、の四項目を重点施策としてスタートしました。

しかし、主要財源である村税や地方交付税の伸び悩みや財政構造の悪化が懸念されるなかで、財源の重点的配分と経費支出の効率化に徹し、一般経費の節減に努めながら、小学校統合校舎の建設、常備消防体制の整備など新しい大きな事業をはじめ、当初かかげた諸事業を計画に沿って行ってきました。

中之島村の家計簿

中之島村告示第六十号  
中之島村財政状況の公表に関する条例の定めるところにより、昭和五十一年度決算と昭和五十二年(四月から九月までの間)の財政状況をつきのように公表します。

中之島村長 齋藤恭三

火事・救急は 025872-2572番(与板郷消防署) または 119番へ



来春完工めざして急ピッチの中央小体育館建設工事

## 52年度 一般会計の執行状況

昭和五十二年年度の当初予算については広報四月号でくわしくお知らせしましたが、その後も景気はいぜんとして低迷し、国も地方も財政状態は窮迫しています。限りある財源ですが、一方、行政需要は多種多様化し拡大は社会の流れとさえなってきたています。

こうしたなかで、財政の健全化と予算の重点配分、計画的な執行を基本に、中央小学校の校舎建設・村道・農道・都市計

### \*歳出

区分	予算額 千円	支出済額 千円
議会費	37,053	17,053
総務費	199,002	88,426
民生費	215,918	100,677
衛生費	62,561	33,679
農林水産業費	90,251	30,502
商工費	34,949	24,677
土木費	324,233	98,781
消防費	65,072	31,434
教育費	465,857	364,057
公債費	73,452	26,417
予備費	532	
<b>歳出合計</b>	<b>1,568,880</b>	<b>815,703</b>

52年度予算の執行状況——一般会計・国保会計



消防費 6434万円(4.5%)



総務費 1億9734万円(13.7%)



農林水産業費 9309万円(6.5%)

### 昭和51年度のおもな建設事業

事業名	事業費 千円
役場庁舎敷地舗装工事	798万8
役場庁舎高置タンク取替工事ほか	106万7
道路照明灯設置工事ほか	129万7
農道整備事業	3388万7
集落開発センター整備事業補助金	325万7
道路新設改良工事(改良・舗装)	1億8346万1
道路橋りょう修繕工事	897万9
鉄道建設公団工事用道路受託事業	222万3
(都市計画)街路事業	3000万
(都市計画)都市下水道事業	2154万
下水道事業	1343万
県道工事費負担金	551万2
防火用貯水槽新設工事ほか	264万9
中之島中央小学校校舎建設事業	1億8445万5
教員住宅購入費	322万7

### 村の財産

村の財産  
中之島村という公の団体の財産です。学校や保育所・公民館などのほかに、債権や出資金などもあります。

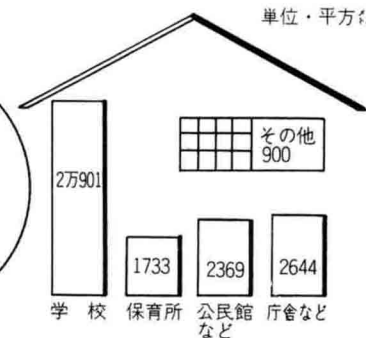
土地 総面積=13万1057平方メートル  
 庁舎= 5592  
 学校=10万2771  
 保育所= 566  
 公民館= 1万5267  
 など  
 その他= 6861

### 現金有価証券など

出資金・有価証券  
338万円



### 建物 総面積= 2万8547平方メートル

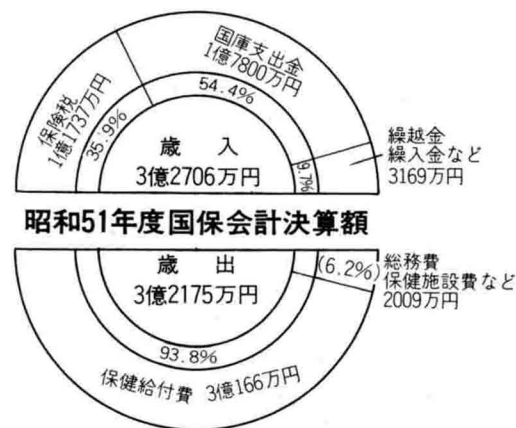
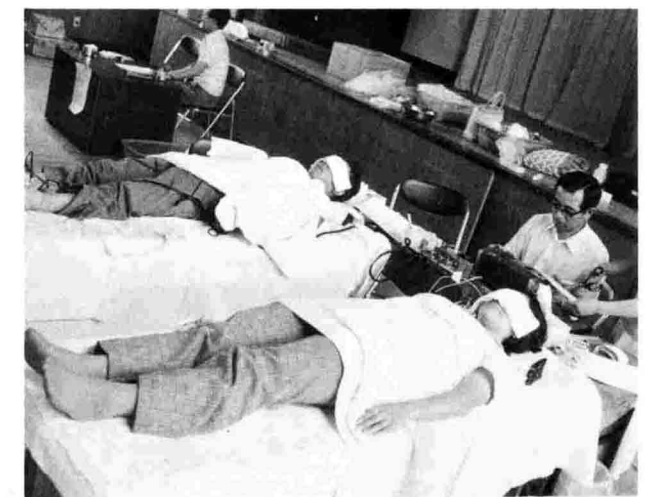


51年度決算——一般会計・国保会計

## 国民健康保険特別会計

この会計は医療費の増減に大きく左右されますが、近年ではこの医療費が増加の一途をたっています。そして、この増加の一途の医療費をまかなう財源としては、国庫支出金(五四・四%)と保険税(三五・九%)がおもなものとなっています。歳出面で大部分を占める保険給付費(全体の九三・八%)は五十年決算に比べ二〇・八%の増と大幅な伸びを示し、五十年決算実質収支は五百三十一万の赤字となりましたが、前年度(一千三百九十八万円)に比べ赤字額が大幅に減少しています。

### 五十一年度決算



### 五十二年予算内容

このような医療費の急増に対処するため、五十二年の第三期分(八月)から保険税を二・八・七%引き上げるをえなくならしました。

これらは保険給付費に直接結びつくため、この増加分については国の支出もありませんが、一定額は保険税でまかなわなければならず、これからの運営には保険税の引き上げ後も楽観を許されないものがあります。

# 時代に促した村づくり



三選された  
齋藤恭三村長

このたび、任期満了に伴う村長選挙におきましては、みなさんの温かいご理解とご支援によりまして、無競争当選させていただきました。過去二回の激烈な選挙戦をおもひとき、三選目にして今回の無競争当選は、私にとりましては、感激と同時にみなさんのお寄せいただいた信頼にこたえる責任の重大さに身の引き締まる思いです。

過去八年間、特に四十八年後半の石油危機に端を発し戦後最悪といわれた地方財政の極めて苦しい事情のなかで、昭和六十年までの中之島村の進むべき方向を示した「基本構想」を今日までの行政の基本目標として、▽教育施設の整備をはじめ、▽懸案となつてゐる諸事業が計画どおり進展をみたこと、さらに、みなさんからの拡大多様化高度な行政サービスとのなかで、新しい行政問題の解決とその対策にも鋭意取り組んでまいりました。

にし、職員ともども綱紀を肅正し、責任体制の確立を図りながら、村政の責任者として中之島村の将来を考え、併せて村内外の情勢もよく見きわめ、村政執行に取り組んでいく決意を新たにいたしてまいります。

すでに着手している村民開放を考えた中央小学校体育館の建設とグラウンド等の整備のほか、上通、信条小学校プールの早期実現を図り、校舎改築などの構想をはじめとした五十三年度からの施策については早々に取り組み、今後の施策の構想を新年度の施政方針のなかで明らかにする所存です。

来秋には北陸高速自動車道が一部開通しますし、上越新幹線、長岡東バイパスがいずれも完成年度を目標に村内を通過します。その変ほうは著しいものが推測されますが、これらの対策と整備計画についても誤ることなく対処してまいります。

これからも一層のご協力をお願い申し上げます。

## 昭和五十三年度

### 保育所入所 申請について

五十三年度の保育所入所申請の受付を次の要領で行います。入所を希望される保護者の方々は、期間内に申請手続きをしてください。

ご承知のように保育所は、国が定めた「保育所への入所措置基準」に基づいて、お忙しい家庭の皆さん方にかわってお子さんを預かり、子供の安全性をはかり、基本的習慣の確立、社会性、創造性、自主性等を培い、また給食を通じて栄養と健康の増進をはかり、明るく豊かな子供を育てることを目的とした施設です。

しかしながらこの保育所も、近年社会情勢の進展に伴い、地域的には定員をかなり超過する入所希望者がでてゐる保育所もあり、この傾向は今後も続くことが予想されると考えられます。村もこうした現状の中で、できる限り入所申請者の希望を満たすよう努力を重ねてきています。申請にあたっては、次の点にご理解のうえお願いします。

- 入所基準（各保育所にある入所申請用紙の裏面記載）を参照のうえ、家庭で保育できない方のみ入所申請の手続きをしてください。
  - 入所措置（決定）は、その地区の最寄りの保育所に入所することがたてまえて、定員の関係上やむを得ず他地区の保育所に入所してもらうこともありまので、ご了承ください。
- 記
- ①入所対象児童（村内在住の住民登録簿登載者）
  - ②入所申請書の受け付け期間  
昭和五十二年十一月十六日から十一月三十日まで
  - ③入所申請書の受け付け場所  
在住する地域所在の各保育所
  - ④入所申請書用紙は村内各保育所に用意してあります。
- ※ 入所決定通知書は、入所申請書に基づき各家庭の状況調査等を行い、選考委員会の審査を経て決定し、来年中旬頃までに各保護者に通知します。

## 秋の叙勲に 勲五等瑞宝章



喜びの飛鳥井さん

社会福祉功勞  
で飛鳥井義賢さん

文化の日の十一月三日、恒例の秋の叙勲者が発表され、村内では中野東の飛鳥井義賢さん（僧侶・七十一歳）が社会福祉功勞勲五等瑞宝章を受章されました。

「私のやって来たことは、みんな地道で、そして公にできないことばかりでした。それも自から望んでではなく、みなさんから、あるいは官公庁からお願ひされてでした。」

昭和十四年、方面委員、民生委員に就任以来、保護司、人権擁護委員、行政相談員それに調停委員、と社会福祉活動もいわば緑の下の支えを永年にわたり、また、幅広い面に尽力された人でした。

昔を振り返って、こんな話を——「私は、徹頭徹尾、弱者の味方であつたと思うのです。二

歳のときに父親が亡くなり、今でいう母一人、子一人の母子世帯になり、八歳のときに全焼にあい、非行に走ると悪いからと小学校四年の時に厳格な他家に預けられ、中学で単身京都に勉強に——。ですから、幼い頃から生活の苦しみを味わい、（年に似合わせず）人生の裏のぞいていたと言わざるを得ないんです。京都で下宿探しをするときも、貧しい身なりでは泊めてもらえない。と、立派なはかまを借りてまで身につけていったほどです。そのころから、「私は弱者の味方なんだ」という気持ちがあつたんでしょうね。」

一番うれしかったことは——「ある青年が窃盗して、保護司の私に引きとられてから立派に更正して、青年会の会計までやってくれました。名譽の戦死をしましたが、このときばかりはうれしかったです。」

つらいと思つたことは——「公職でのつびきならぬ用と法事がぶつかった時——お前は何か本業か！と、何度か言われたときがせつなかつた。」

叙勲のよろこびは——「うれいすね。緑の下の力もちが認めてもらえたということですから。しかし、この喜びを一人静かにこれから味わっていきたいと思つています。」

——人生の裏を知り、生活苦を味わい、地道な仕事を体験した人の本心と感じました。——



袋詰めにいそがしい大久保さん

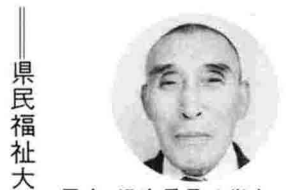
## 中越地区きのこ祭り なめこ部門で県知事賞

大久保武美さん（横山）

「金賞をとりたいたというのが念願でしたから、本当にうれしかったです。自分ではある程度いい線までは……と思つていたんですが、県知事賞をもらえたなんて——。」と、喜びの大久保さん。

10月29日、長岡市で開催された「中越地区きのこ祭り」で、「なめこ部門」において大久保さんが最優秀賞となり、中之島村では初めての県知事賞を受賞しました。また、なめこ部門ではつぎのように村内出品者が「金・銀・銅」を独占するという輝い成績を納め、「中之島のなめこ」が会場で、また、市場で高く評価されています。

- なめこの部  
金賞 大久保武美（横山）  
銀賞 山本一成（杉之森）  
銅賞 大野喜代太（興野）
- しめじの部  
銀賞 山本一成（杉之森）



民生・児童委員功勞者  
に田辺久四郎さん  
民生委員総務功勞者  
に飛鳥井義賢さん

県民福祉大会で表彰

去る十月二十一日、湯沢町で開催された第二十七回県民福祉大会総会の席上で、田辺久四郎さん（中条第一・六十八歳）（写真）が民生・児童委員功勞者として、また、飛鳥井義賢さん（中野東・七十一歳）が民生委員総務功勞者として表彰されました。

## ただいま工事中 入札結果から

場所	工事名	工事費	工事業業者	完了予定日
池之島	道路改良	590	丸寅建設(株)	53. 1.16
中条	道路改良	239	株第1和光産業	52.12.22
中野東	道路改良	640	(有)宝建設	53. 1.21
島田	道路改良	160	(有)丸月組	52.11.27
坪根	道路改良	600	室橋組	53. 1.16
池之島	道路維持工事	39	(有)羽賀建設	52.11.17
中之島	道路改良	2,838	(株)佐藤組	53. 3.25
横山	農道整備事業	1,128	(株)松井組	53. 3.20



今回最年長者の入沢義明さん(42)

「平均年齢37歳。もう10何年も走ったことのない者ばかりです。」

「いやー足が痛くて」といいながらも立派に完走した「西野走ろう会」。今大会で最年長者の入沢さん(写真)もその一人。「やっぱり、なんぎいでしたわ」といいながらも、顔はさわやかに――。

### 25周年記念大会に25チームが出場

村内一周駅伝マラソン



25選手が近藤鉄工前をいっせいにスタート。

村内一周駅伝マラソン大会は、ことし25回を迎える記念大会を祝うかのように出場チームも25チームという盛大ぶり(昨年は19チーム)。声援おけているよりはオリンピックの精神(参加することに意義がある)で、と早々に申込書を提出したチーム。また、あの人たちが走るのなら自分たちだって…と急きょ出場を決めたあるチーム。いずれにせよ、みなさんが自主的に参加する気持ちになってきたことだけは確かです。

そうです。何事も「あなたが主体」なのです。

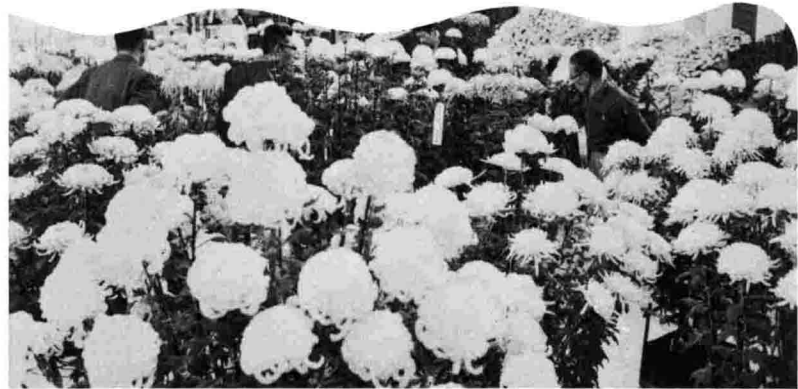
- 総合 1位 ランナーズ 1°31'20"
- 中学生 1位 北中C 2位 北中B 3位 北中A
- 青年会 1位 信条青年会 2位 中条青年会 3位 中野青年会
- 一般 1位 ランナーズ 2位 ROZN 3位 北中OB
- 区間新記録 第6区間 鈴木利夫 第7区間 河内 昇, 皆川浩幸



△中之島北中の記念式典

### 中之島中・中之島北中ともに30周年記念式典

▽中之島中の記念文化祭



△第7回菊花展  
丹精こめた盆景や盆栽・大菊・福助など約450点が出品され、訪ずれた人々を満足させました。

## 秋 スポーツと芸術と 多彩な催し

暖かい日の続いた、さわやかなことしの秋でした。村内各地では10月から11月上旬にかけて、それぞれ多彩な催し物が相次ぎ、不景気風のなかにも何か明るい日ざしがさしこんだようでした。おもな行事をカメラで追ってみました。

「ほら、うまくできているだろう!!」とお母さん、おばあちゃんに作品をじまん。(展らん会)

中野小としてはこれが最後の学芸会!? みんなハリキッテ一生けんめいやりました。



△中野小学校

△信条保育所

### 健康は自分でつくるもの

おかあさんがた!! 体力が劣っていますよ!



ジグザグドリブル

若い人はともかく、世の奥さん方、お母さん方といわれるご婦人の体力はどの程度なのか。とすれば運動不足気味な、また、同一作業的にしか動かしていない身体にどのくらいの体力があるのか……。といった、体力テストが公民館社会体育係と保健衛生課で行われた(七月に実施)結果がでました。対象者は村内の主婦(食生活改善推進委員)約五十人。結果は――県の平均値よりも低く、村内の主婦さんたちは体力年齢が低い――結果に。

内容は――  
▽反復横とび(敏しように性)……まあまあ良い。  
▽ジグザグドリブル(機用さ)……これだけ県平均よりも良い。  
▽垂直とび(瞬発力)……三十代・四十代・五十代ともに県平均を下回っており、ふだんいかに運動していないかがわかる。  
▽急歩(持久力)……全体的に悪い。

※ ふだん運動について関心を持ちながらも、実行が伴っていないので結果はよくない。労働で動かす外の運動がスポーツです。ちよつとのひまがあったら腰やひざの屈伸を――。これだけでも違います。  
○次号では「なぜ運動をしなければならないか」を予定しています。

# 意識調査結果から

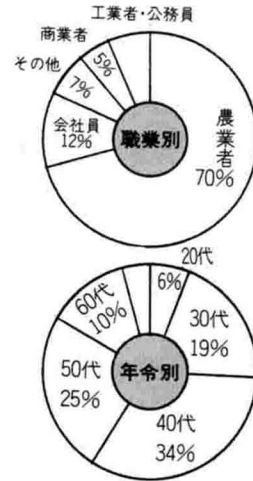
## 調査の概要

ことし7月、役場産業課が「産業行政の基礎資料」を目的に、全世帯を対象に行った意識調査の結果がまとまってきましたので、みなさんにお知らせします。

勤労者福祉対策の確立、村内購買力の増大を図るため購売実態と問題点の解明、産業行政に対する意見と要望の把握……の四点について。

**調査方法は**——嘱託員に依頼し、全世帯配布(2210枚)で、回収は1275枚(回収率57.7%)  
**回答者の構成は**——職業別では農業者が70%、ついで会社員12%、その他7%、商業者5%、工業者、公務員の順。

性別では男性が94%、女性はわずか6%でしたが、家族の意識をとりまとめ回答願ったもので男女それぞれの意識が平等に求められたものと判断しております。

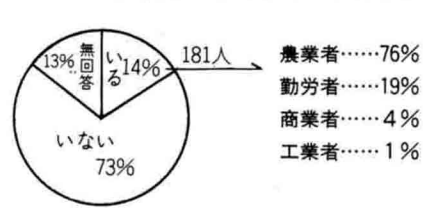


設問 ▷あなたは内職を希望しますか



■初めての設問で比較検討することはできませんが、数字のみから判断すれば、内職を希望する人が373世帯もあり、経済不況がはっきりと生活の上にあらわれてきています。また、労働的立場からみれば、農業では大型機械の導入などによって余剰労力が生じ、適当な労力行使の場がない、ということではなからうか。▷関係機関と連携を密にして、強力な対策が必要に——。

設問 ▷あなたは近い将来、今の仕事をやめ違う仕事をやりたいと考えていますか。



■違う仕事を……という人のうち農業者が76%を占め、その方法として農地売買を考えている人が3人、その他は農地委託で——となっています。学区別では、信条、中野、中通、中之島、中条、西所、三沼となっており、数・率とも差がそれほどありません。農業者が多いことは、農業の経営構造そのものが農業中心から商・工業を一体化とした経営構造に——という農業者が増加していることを示しています。▷農地委託機構の充実とあわせ、商工業就業者対策を併行させた行政の確立が必要に——。

## 意見・要望の集約と対応

### 商工関係

□工場誘致と地場産業の育成により、村内で働ける職場の確立——「工場誘致については、工業適地として都市計画区域内に設定されているが、公害のない工場誘致を基本として関係者の協力を得て実現に努力したい。

現在の企業については、関係機

関と協力して経営の安定が図られるよう努力したい。また、職場の確保については、求人情報の充実を図ってまいります。」

□雇用求人情報等の窓口の設置——「窓口は産業課ですので、ご利用ください。また、本調査でも情報希望者(282人)がおられますので、職安とも検討のうえ、情報の提供をするよう努力します。」

### 農業関係

□村の農業基本構想、基本計画、実施計画に基づき農業者の指針としたい。また、農業白書の公表を望む。

——「目下作業中である。昭和53年度を目途に実施したい。」

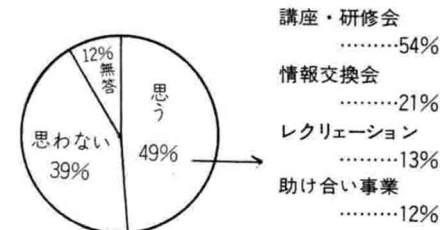
□農道の主要幹線補装および改良——「現在進めている農道整

停電のお知らせ

- 11月22日(火) 9時30分～15時30分 灰島・五百刈・中興野・大曲戸
- 12月2日(金) 9時00分～12時00分 西高山・六所・野口・真弓
- 12月6日(火) 9時00分～15時00分 池之島

# 意識調査結果から

設問 ▷村が勤労福祉対策として、「勤労者集いの会」などを作り、講座・研修会、レクリエーション、情報交換会、助け合い事業などをやってほしいと思いませんか。



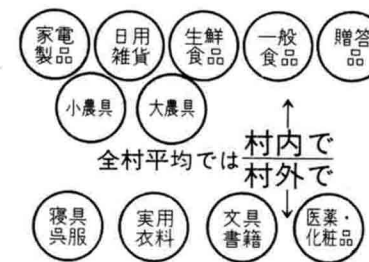
■事業主に対する諸政策は不満足ながらも一応のレールは敷かれているが、勤労者対策は比較的事業主まかせとあってよいのでは……。

やってほしいという人が予想以上の数値であったと同時に、いかにこのような機会が少ないかのあらわれであろう。

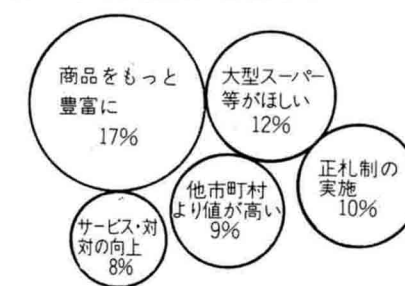
内容は左のとおりだが、いずれの事業であっても広く見聞をなし、近代社会への対応と労働意欲の興起につながっていくであろう。

▷村行政の行政ベース事業でなく、やってほしいという人達の中から自然に生まれてくる事業であるべきで、行政はその自然発生的潤滑油であるとともに、その検討が必要

設問 ▷つぎの商品はどの店舗で買いますか。



設問 ▷村内商店に望むこと



■全村平均値では11品目のうち、50%以上を村内、外別にみると、村内が7品目、村外が4品目となっています。学区別では信条、三沼、西所学区が村内では「大・小農具のみ」で、そのほかは村外に依存しており、地域的環境も非常に強いことがいまさらながら明確に出ています。

また、村商工会で44年に同様な調査を行った時の数値と比べると、贈答品を除き、ほぼ似たような値(1~2%村内減)であり、ちょっと意外でもあった。というのは、社会的経済の変ぼうと地域環境の変化は著しく、単純に8年前とはいえないからでもある。

▷消費者が村内購買依存度を高めるため、商工業者が一体となって、協調と連帯の理念を基調に商法そのものを段階的検討を加え、強力に推進する必要がある。▷商店の体質改善と併せて正札販売、情報PRの徹底をし、消費者に対応した商店街づくりと積極的な施策の確立を——。

## 意見・要望の集約と対応



備(改良・補装工事)事業を今後とも積極的に推進したい。」

□役場、農協などが仲介役で農地委託制度の確立を。

——「経営受委託制度があるので気軽にご相談いただきたい。」

□部落座談会、講座、研修会などの実施。

——「講座、研修会等を実施しておりますので積極的に参加いただきたい。また、村政懇談会も参

加をいただきたい。」

□マンネリ的米価運動をやめ、実のある運動と過剰米対策について。

——「米価運動については、それなりの実効があるものと考え継続したい。また、超過米対策については、国の段階におけるの全量買上げを期待したい。反面、良質米の増進により商品性のある米づくりへの転換を推進してまいりたい。」



品評会では、本職と思うほどのりっぱなものばかり

「趣味を生かして、明日からの労働意欲を増進させよう」というのがこの会（池田幸夫会長、会員約五十名）の主旨。二十代から七十代に近い人まで、と愛好家は幅広い。四十九年春、錦鯉好きや金魚好きの人たちが発起人となり十五・六人で発足した。以来、毎年各会員の庭先視察や先進地の視察を行い、飼育技術の向上を図っており、その技術のほどを年一回の品評会でひろっている。ことしは十月二十三日に信条小学校前で開催し、地元の方、飼っておられる方がお勢観賞に訪れた。

「小さい数百円くらいのものを買ってきて、自分で育て、観賞し、生活をエンジョイする。そして明日への仕事のステップ

### 中之島村錦鯉 金魚愛好会

趣味を生かして、明日からの労働意欲を増進させよう」というのがこの会（池田幸夫会長、会員約五十名）の主旨。二十代から七十代に近い人まで、と愛好家は幅広い。四十九年春、錦鯉好きや金魚好きの人たちが発起人となり十五・六人で発足した。以来、毎年各会員の庭先視察や先進地の視察を行い、飼育技術の向上を図っており、その技術のほどを年一回の品評会でひろっている。ことしは十月二十三日に信条小学校前で開催し、地元の方、飼っておられる方がお勢観賞に訪れた。



## 最後の小運動会

いま学校で⑩  
信条小学校  
(坂井健次校長/171名)

児童たちが自から企画・計画し、運営している事業の一つに小運動会がある。学校側が主催のときが大運動会で、児童会主催なのは「小運動会」なのだ。毎年行われており、ことしも10月15日に――。

「勝敗にとらわれず楽しい運動会にしよう」という、テーマの大きな看板が目に入った。どおー♪楽しい――と聞くと「うん、とっても楽しい」と大歓声が返ってくる低学年。「上級学年と下級学年との交流を深める意味も十分にあるんです。」と六年の役員諸君たち。（小路別対抗では人員的に不均衡が出るため、学年たて割方式で九班にチームが分れている。）

児童会長の室橋妃美（ひとみ）さんがせわしく動き回っていた。「毎年やっているから上級生はいいんですが、一・二年生の指導に力を入れないと進行が思うように――。」と。

そんな光景を、来賓席で先生方がのんびりと観戦。手前を走り抜ける子どもたちに盛んに声援を送っておられたが、「今日だけは、ヤキモキしてものんびり見ていなければ。アハハハ……」と坂井校長。

これが最後とあって、上級生下級生を組み合わせさせた「ふうせんわり（写真）」や「仲よく行こうよゴールまで」など、目玉競技種目に来賓席からは終始楽しい笑いが絶えませんでした。



**五回以上献血者を表彰します。**

このことについては九月号広報でお知らせしましたが、今までに五回以上献血された方は、まだ表彰を受けていない方は十二月十日までに役場保健衛生課へ申請してください。

▼申請には、献血手帳と印かんをお持ちください。

**52年度 陸・海・空 自衛隊生徒募集**

自衛隊生徒は四年間で三曹に進級するだけでなく、高校卒の資格を取ることができます。

■応募資格

十五歳以上十七歳未満の日本国籍を有する男子で、中学校を五十二年三月に卒業した者の者及びそれ以前に卒業した者の者

■待遇

初任給 七五、七〇〇円。衣・食・住・医は無料。各種手当支給。

■受付

五十二年十一月一日から五十二年十二月二十三日まで。

■一次試験

五十三年一月五日

詳しくは役場住民福祉課へお問い合わせください。

### 税務コーナー

#### 相続と税金 ①

「相続」は、死亡によって開始し、相続人は被相続人（死亡した人）の財産に関するすべての権利を受けつぎます。

では、それが相続人になるか、ということは、民法に定める「範囲と順序」がきめています。それは、死亡した人の子孫などの直系卑族、父母、祖父母の直系尊族、そして兄弟姉妹および死亡した人の配偶者が相続人となつていきます。

**相続の結果どうなるか――**

相続人は、相続される人がもっていた財産上の権利、義務のうち、相続される人だけしかもつことのできないものを除き、一切が正しいものを受け継ぐこととなり、遺産は、一応相続人全部の者の共同所有となります。しかし、どんな割合で相続するかは別に決められています。が、そこで相続人となる順番にある者が相続するかどうかは、その者の自由意志でまゐることとなります。

その手続きをする期間は、自分が相続人になっていることを知ったときから三月以内、死亡した人が住んでいた所轄家庭裁判所に申立てを行い、承認を得ることとなります。

**権利の放棄――**

相続人であるべき人が、▽被相続人から生前に贈与を受けていた。▽遺産が少ない。▽遺産を分散させたくない。などの理由で、相続人同志で話し合いのうえ、権利放棄することも出来ることになっていきます。

権利放棄が行われていますと、相続登記をするとき手続きが容易になりますので、この制度を利用されることも一考に値すると思います。

「次号では課税される遺産額の計算・相続税の計算」について掲載予定です。



**使う火を消すまで離さない**

「おっ、寒い」と、思わず口から出てくるようになりましたね。もうおそろく、この家庭でもストーブやコタツを引つ張り出して、使われているのではないのでしょうか。ところが、台所の火と違って日常まだそんなには使用しないため、ストーブを消し忘れたり取り扱ひ方を間違ひたり、ということが心配されます。

火の元の取り扱いには十分気をつけましょう。

▼幼児・老人だけを残して外出することは極力さけよう

▼就寝前の火の元点検を必ずおこなおう

▼寝たばこは絶対にやめよう。また、させないように常に注意しよう。

▼自分が使う火は消すまで責任をもち、そのつど安全を確認しよう。

▼一日一回は防火について反省しよう。

**県内の最低賃金が改正**

1日1147円

今年の十一月四日以降の新潟県内の最低賃金が改正され、一日最低二千二百四十七円（時間雇用の場合は一時間二百八十一円）以上でなければ労働者を雇うことができなくなりました。

#### お知らせコーナー

国民年金相談 ○12月10日(出) 午前9時～12時  
○役場 住民相談室

停電のお知らせ  
○12月9日(金) 9時～12時 坪根  
○12月20日(火) 9時～12時 関根・島田・長呂・宮内・並木  
○12月23日(金) 9時～12時 押切思川